

漁海況月報

No. 1

平成 15 年 1 月 1 日

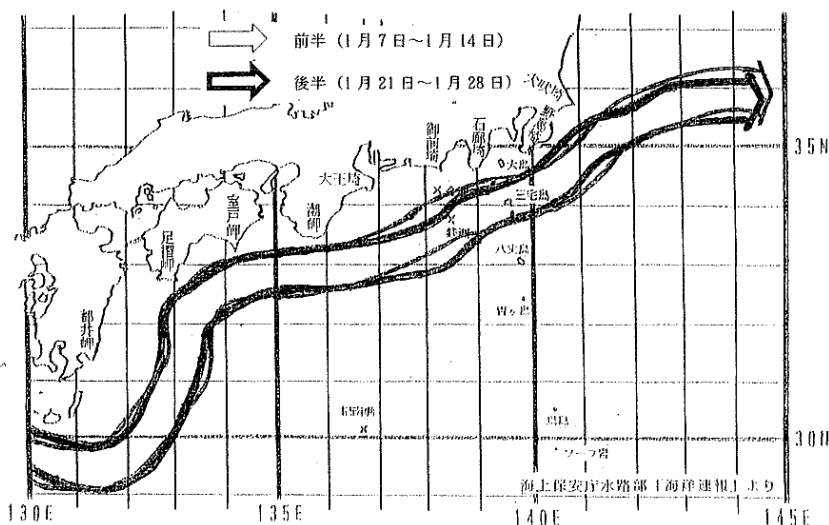
～1 月 31 日

静岡県水産試験場

(電話 054-627-1815)

静岡県水産試験場伊豆分場

(電話 0558-22-0835)



【黒潮流路】

前半(1月7日～1月14日)、後半(1月21日～1月28日)とも、黒潮は九州東岸沖から足摺岬で離岸し、室戸岬から潮岬では接岸して流れた。遠州灘沖では 33° N～33° 30' N を東寄りに進み、三宅島付近を通過後、房総半島沖を北東方向に流れた。

【県下沿岸域】

県下の定地水温は、相模湾側では 14～16℃ 台、駿河湾内では 11～17℃ 台で経過した。伊東と地頭方は、おおむね平年よりも低めであったが、他の場所はおおむね高めであった。

【竿釣近海カツオ】

1月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は 273 トンで前年同期の 3.4 倍であった。魚価は 365 円/kg で、前年同期を大きく下回った。

静岡県船は、主に下旬から今年の操業を開始した。20° 10' ～23° 20' N、139° 40' ～148° 20' E (表面水温 25.5～26℃) に漁場が形成され、特大、特々大、大、中、小カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
平成 15 年 1 月上旬	0	0	—	—
中旬	21	3	7.0	396
下旬	252	10	25.2	363
平成 15 年 1 月計	273	13	21.0	365
平成 14 年 1 月計	80	8	10.0	565
平成 13 年 1 月計	5	3	1.7	630

2003 年 1 月

定地水温の旬平均値 (°C)

(下段は偏差)

期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上旬	14.3	15.3	15.4	17.1	15.7	15.6	10.2
中旬	-1.0	-0.6	0.2	1.5	0.1	0.9	-2.9
下旬	14.2	16.2	15.9	17.3	17.5	16.4	13.4
月平均	-0.7	0.8	1.2	2.2	2.4	2.2	1.1
上旬	14.0	15.4	15.4	16.0	14.9	15.2	11.3
中旬	-0.5	0.4	1.1	1.3	0.3	1.2	-0.6
月平均	14.1	15.6	15.5	16.7	15.8	15.6	11.6
下旬	-0.7	0.2	0.8	1.7	0.7	1.3	-0.8

【定置網】

平成 15 年 1 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は 446 トンであった。1 漁場当たり水揚量 55.8 トンは、前年 23.8 トンの 2.3 倍、平年値(昭和 57～平成 14 年平均値) 17.8 トンの 3.1 倍であった。

魚種別にみると、①カタクチイワシ 261 トン(前年の 361 倍、平年の 40 倍)②サバ類 97.4 トン(前年の 4.1 倍、平年の 10 倍)③スルメイカ 23.7 トン(前年の 2.3 倍、平年の 1.3 倍)④マアジ 14.5 トン(前年の 34%、平年の 1.7 倍)⑤サンマ 12.7 トン(前年の 22%、平年の 69%)の順に多かった。

カタクチイワシは北川、富戸、並びに谷津でそれぞれ 60 トン台と多獲され、3 か統でカタクチイワシ全漁獲量の 7 割を占めた。昭和 57 年以降 1 月の最多漁獲量は 79 トンであったことから、本月の漁獲量は特異的であったと考えられる。被鱗体長モードは 12～12.5cm であった。サバ類は谷津、川奈を中心に入網し、主体はゴマサバ小であった。尾叉長の中心は 22～24cm であった。スルメイカは富戸でもっとも多く入網し、スルメイカ全漁獲量の 7 割を占めた。外套背長の中心は 27～28cm であった。マアジは赤石を中心に入網し、尾叉長の中心は 17～19cm であった。サンマは北川と谷津で多

く入網し、両漁場でサンマ全漁獲量の7割を占めた。本種の入網はほぼ川奈以南の漁場で認められた。肉体長の範囲は22~31cmであった。漁場別水揚量は、カタクチイワシの漁獲が多かった北川(103トン)、谷津(99トン)、富戸(95トン)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港に水揚げされたサバ類は465トンで全てゴマサバであった。漁場は、三宅、大島近海を中心に形成され、魚体の大きさは32~34cmで2歳魚が主体であった。1kg当たりの平均単価は107円で、前月より14円安くなった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成15年 上旬	---	-	--	---	
1月 中旬	225	4	15	15.0	三宅
下旬	240	4	20	12.0	三宅、大島
計	465	8	35	13.3	
平成14年1月	337	7	14	24.1	三宅、三本
平成13年1月	159	4	12	13.3	三宅、三本

[シラス船曳網]

1日1か統当り水揚量は、駿河湾では68kg、遠州灘では150kgであり、主要6港平均では105kgと前年同期の1.3倍、平年同期(過去5か年平均:81kg)の1.3倍であった。

1月の総水揚量は前年の96%、平年(14トン)の76%であった。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新居	0.1	1	1	120	1,000
舞阪	0	0	0	0	0
福田	1.8	1	15	121	934
御前崎	5.0	3	30	165	831
吉田	2.6	3	19	138	755
静岡	1.2	4	37	33	1,566
平成15年1月計	10.7	—	102	(平均) 105	(平均) 914
平成14年1月計	11.2	—	142	79	1,114
平成13年1月計	16.6	—	193	73	969

[まき網]

静岡港では、前年と同様マイワシ・カタクチイワシ共に水揚げはなかった。

伊東港では、マイワシは2トンで前年(1トン)の2倍だが低調に推移した。

小川港では、マイワシは183トンの水揚げで、前年(92トン)の2倍、平年(過去5か年平均:162トン)の1.1倍であった。

[調査船の動向]

富士丸

1月14日~1月1日 マリアナ方面の漁場に於て、カツオ調査(18日間)

駿河丸

1月8~10日 地先定点観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

1月16~17日 戸田沖~雨垂、大瀬崎沖においてサクラエビ調査(2日間)

1月22~23日 駿河湾内においてサバ標識放流(2日間)